

2023年 令和5年 10月4日(水)

第16回

堂崎 観音寺

午後6時30分より(7時半頃終演予定)

於: 観音寺境内(雨天時は本堂)

愛媛県宇和島市石応^{こくほ}1351(Tel:0895-28-0051)

国道56号線を松山方面より宇和島道路に入り
板島橋→トンネルを抜け、石応別当降り口にて降りる。
信号を右折、分かれ道を左に進み、約5キロ。
石応郵便局の先、右に入る。駐車場へ。

料金:1,000円 ※お席に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。

【予定演目】

- ◆「祇園精舎」平家物語冒頭句
- ◆平家物語外伝「堂崎観音堂悲話～宇和海落武者伝説～」
川村素子 作詞 / 川村旭芳 作曲 (平成18年初演)
- ◆「伽羅^{きゃら}の兜^{かぶと}」
家康も惜しんだ勇士! 戦国きってのイケメン武将 木村重成の最期

【演奏者プロフィール】

ちくぜんびわ かむむら きよくほう
筑前琵琶奏者 川村 旭芳

神戸市出身在住。
八歳より母の勧めで、筑前琵琶日本旭会総師範 故二代柴田旭堂に師事。
古典曲を継承しつつ新作の創作にも取り組み、
阪神・淡路大震災の追悼曲をはじめ、母川村素子の作詞による作品も発表。
「堂崎観音堂悲話～宇和海落武者伝説～」は、母娘合作の代表作の一つ。
1998年～2010年、和楽器オーケストラ 邦楽合奏団「鼎」(KANAE)に所属。
現代曲奏者として、関西の楽団、邦楽社中、音楽大学などの国内外における
公演に多数出演。
2011年、CD『川村旭芳作品集I～母娘合作集～』(「堂崎観音堂悲話」収録)
および『川村旭芳 筑前琵琶のしらべ～源平一ノ谷合戦～』二枚同時発売。
箏・尺八・胡弓などの演奏家四人で結成された和楽器ユニット「おとぎ」の
代表を務め、内子座、八千代座ほか全国の芝居小屋での公演も開催。
門人会「筑前琵琶川村旭芳会」主宰。NHK-FM「邦楽のひととき」他出演。

【その他、四国・愛媛県にちなむ自作曲】

- ◆「空海讃歌」～入唐千二百年記念～
- ◆「千歳余り二百歳」～四国へんろ開創千二百年記念～
- ◆内子町 清盛寺に伝わる平家の落人伝説より「八房の梅～登貴姫哀歌～」

耳をすませば今もなお梢をわたる風の音に和して聞こゆる誦経の声

当地に伝わる平家の落武者伝説

一ノ谷、壇ノ浦、宇和島を結ぶ壮大な歴史ドラマを、哀切な琵琶の音と語りでお聴き頂きます。

悲話 狂言 白 しらべ



お問合せ・ご予約

観音寺(山崎) Tel:0895-28-0051 / 携帯:090-3461-7307

題字: 信田 春塘